

1 総 括

1-1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、公設試験研究機関においては研究開発、技術支援の高度化がますます強く要請されている。このため、地域産業の「技術的拠りどころ」としての機能を果たしていくためには、生産・加工システム、地域資源の高度利用、新素材・新材料、バイオ・食品、環境・生活・デザイン及び電子・情報などの研究開発が不可欠であり、これらの研究開発を推進することによって、技術水準の高度化を促進し、地域資源や開発した技術の活用による新製品・新商品の開発を行い、新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主対象とする技術相談・支援業務、依頼分析・試験業務及び工業技術に資する研究開発業務を主要業務とするほか、J D r e a m II, P A T O L I Sなど技術情報データベースのオンライン検索による情報提供、メール配信サービス「K I T - e n e w s」等地域企業への情報提供業務を行うとともに、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。また、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R & D支援センター」や、「システム開発技術センター」などの利用を通して、地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進している。

1-2 組織と業務

庶 務 部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

企画支援部

- (1) 試験研究及び技術指導の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査研究及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。
- (4) 工業デザイン及び工芸品の開発研究、調査及び技術指導に関すること(大島紬部の所管に属するものを除く)。
- (5) 工業デザイン及び工芸品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること(大島紬部の所管に属するものを除く)。

食品・化学部

- (1) 食品工業、化学工業、環境工業及び繊維工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 食品工業、化学工業、環境工業及び繊維工業に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

生産技術部

- (1) 機械工業、電子工業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械工業、電子工業及び金属工業に関し、依頼に応じて行う分析、試験、検査測定及び加工に関すること。

地域資源部

- (1) 木材、竹材等の地域資源の試験研究、調査及び技術指導に関すること(他部の所管に属するものを除く)。
- (2) 木材、竹材等の地域資源に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること(他部の所管に属するものを除く)。
- (3) シラスの試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (4) シラスに関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

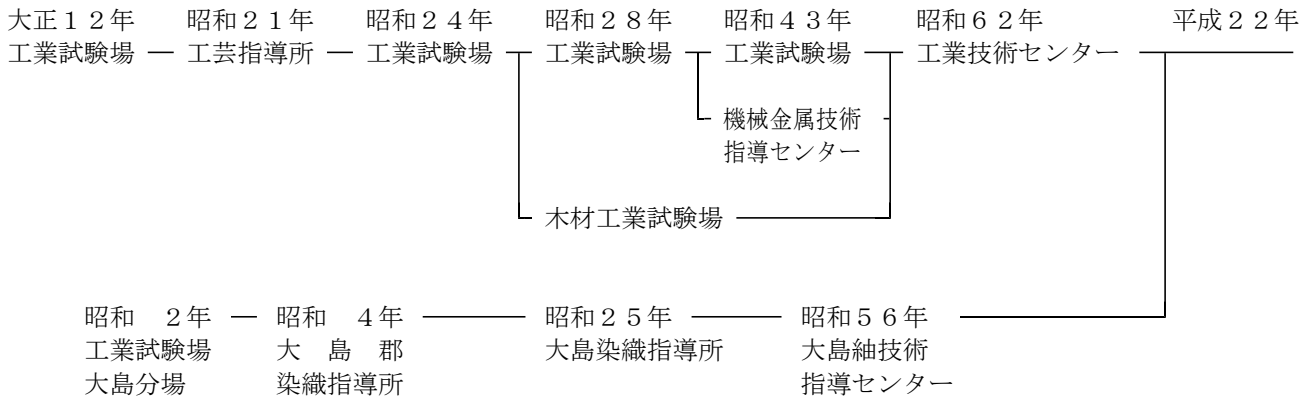
大島紬部

- (1) 大島紬の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 大島紬に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

シラス研究開発室

地域資源部の項の第3号及び第4号に掲げる事務を分掌する。

1-3 沿革

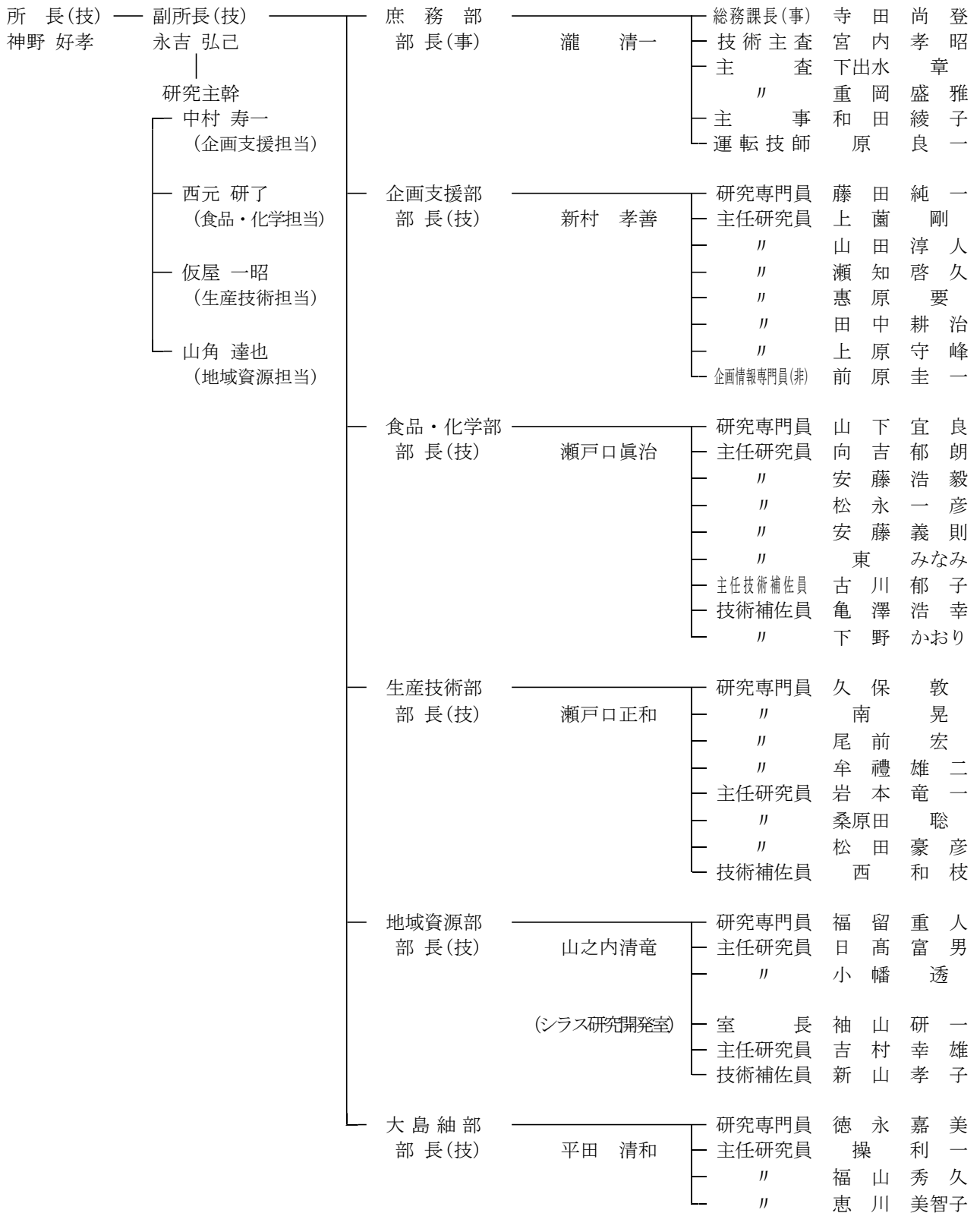


- 大正12年 4月 鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し、染色、機織の2部を設置
- 昭和2年 4月 工業試験場大島分場を設置し、庶務、図案、原料、染織の4部で発足
- 昭和4年 6月 鹿児島市原良町に移転
- 原料糸検査、醸造、玉糸製糸、撚糸、図案の各部を増設
- 昭和4年11月 工業試験場大島分場を大島郡染織指導所と改称し、庶務、原料、染織、図案の4部に改編
- 昭和15年 4月 窯業部を増設
- 昭和17年 1月 木工、化学部を増設
- 昭和21年 4月 工業試験場に木工養成所を併設
- 昭和21年12月 工芸指導所と改称し、庶務、化学、窯業及び工芸振興の4部に改編
- 昭和23年 1月 竹工部を増設
- 昭和24年 4月 工業試験場と改称し、庶務、化学、及び工芸（木工、竹工、窯業）に改編
- 昭和25年 6月 大島郡染織指導所を大島染織指導所と改称
- 昭和26年 4月 発酵工業部を新設
- 昭和27年 4月 工芸部より木竹工部を分離・新設、揖宿郡指宿町（現 指宿市）に指宿分場を設置
- 〃 大島染織指導所は琉球政府経済局の所管へ
- 昭和28年 4月 木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置
- 昭和28年12月 日本へ復帰、鹿児島県大島染織指導所へ
- 昭和34年11月 鹿児島市武町に移転
- 昭和38年 6月 指宿分場を廃止
- 昭和39年 4月 工芸部を窯業部に改め、化学部に機械金属班を設置
- 昭和43年 2月 工業試験場の新庁舎竣工
- 昭和43年 8月 機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立
- 昭和48年 3月 鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転
- 昭和56年 4月 大島染織指導所を大島紬技術指導センターと改称するとともに総務課、機織研究室、図案研究室、染色化学研究室内の1課、3室体制とする。
- 昭和62年12月 工業試験場、機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し、現住所に工業技術センターを設立、庶務、企画情報（室）、デザイン開発（室）、食品工業、化学、窯業、機械金属、電子、木材工業の2室7部に改編
- 平成8年 4月 組織改編により庶務、企画情報、デザイン・工芸、食品工業、化学、素材開発、機械技術、電子、木材工業の9部制発足
- 平成9年 3月 知的所有権センター開所
- 平成9年12月 システム技術開発センター開所
- 平成10年 7月 R&D支援センター開所
- 平成13年 4月 化学部を化学・環境部に改編
- 平成22年 4月 大島紬技術指導センターを統合し、大島紬部を設置
- 平成23年 4月 組織改編により、庶務部、企画支援部、食品・化学部、生産技術部、地域資源部、シラス研究開発室、大島紬部の6部1室に改編

1-4 機 構

1-4-1 組織と職員配置

(平成23年4月1日現在)



1-4-2 職員現況表

(平成23年4月1日現在)

区分	事務職	技術職	現業職	計	非常勤職員	備考
庶務部	5	3	1	9		所長, 副所長を含む
企画支援部		9		9	1	
食品・化学部		8	3	11		
生産技術部		9	1	10		
地域資源部		5		5		
シラス研究開発室		2	1	3		
大島紬部		5		5		
計	5	41	6	52	1	

1-4-3 人事異動

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

発令年月日	氏名	新 任	旧 任	備考
H23. 4. 1	仮屋 一昭	研究主幹(生産技術担当)	商工労働水産部参事付 (かごしま産業支援センター)	転入
	下出水 章	庶務部主査	再任用	
	重岡 盛雅	〃	〃	
	前原 圭一	企画支援部企画情報専門員	新規採用	
	恵原 要	企画支援部主任研究員	デザイン・工芸部主任研究員	再任用
	上原 守峰	〃	〃	
	田中 耕治	〃	素材開発部主任研究員	
	操 利一	大島紬部主任研究員	大島紬部主任研究員	
	福山 秀久	〃	大島紬部研究専門員	
	恵川 美智子	〃	〃	
	永吉 弘己	副所長	副所長兼電子部長	所内異動
	寺田 尚登	総務課長	主幹兼総務係長	
	中村 寿一	研究主幹(企画支援担当)	デザイン・工芸部長	
	西元 研了	研究主幹(食品・化学担当)	化学・環境部長	
	山角 達也	研究主幹(地域資源担当)	木材工業部長	
	新村 孝善	企画支援部長	企画情報部長	
	瀬戸口 眞治	食品・化学部長	食品工業部長	
	瀬戸口 正和	生産技術部長	機械技術部長	
	山之内 清竜	地域資源部長	素材開発部長	
	袖山 研一	地域資源部シラス研究開発室長	素材開発部研究専門員	
	藤田 純一	企画支援部研究専門員	企画情報部研究専門員	
	山下 宜良	食品・化学部研究専門員	大島紬部研究専門員	
	久保 敦	生産技術部研究専門員	電子部研究専門員	
	南 晃	〃	機械技術部研究専門員	
尾前 宏	〃	電子部研究専門員		
牟禮 雄二	〃	機械技術部主任研究員		

発令年月日	氏名	新 任	旧 任	備 考
	福留 重人	地域資源部研究専門員	木材工業部研究専門員	
	上 蘭 剛	企画支援部主任研究員	電子部主任研究員	
	山田 淳人	〃	デザイン・工芸部主任研究員	
	瀬知 啓久	〃	企画情報部主任研究員	
	向吉 郁朗	食品・化学部主任研究員	化学・環境部主任研究員	
	安藤 浩毅	〃	〃	
	松永 一彦	〃	食品工業部主任研究員	
	安藤 義則	〃	〃	
	東 みなみ	〃	化学・環境部主任研究員	
	岩本 竜一	生産技術部主任研究員	企画情報部主任研究員	
	桑原田 聡	〃	素材開発部主任研究員	
	松田 豪彦	〃	〃	
	日高 富男	地域資源部主任研究員	木材工業部主任研究員	
	小幡 透	〃	化学・環境部主任研究員	
	吉村 幸雄	シラス研究開発室主任研究員	素材開発部主任研究員	
	古川 郁子	食品・化学部主任技術補佐員	化学・環境部主任技術補佐員	
	亀澤 浩幸	食品・化学部技術補佐員	食品工業部技術補佐員	
	下野 かおり	〃	〃	
	西 和枝	生産技術部技術補佐員	素材開発部技術補佐員	
	新山 孝子	シラス研究開発室技術補佐員	〃	
	市来 浩一	商工労働水産部参事付 (かごしま産業支援センター)	機械技術部研究専門員	転 出
	木村 智裕	保健福祉部介護福祉課主査	庶務部主事	
H24. 3.31	平田 清和		大島紬部長	退 職

1-5 規 模

1-5-1 土地・建物

土地面積 67,245.36㎡
 建物延べ面積 19,099.73㎡

(霧島本庁舎 60,889.02㎡ 奄美分庁舎 6,356.34㎡)
 (霧島本庁舎 16,664.99㎡ 奄美分庁舎 2,434.74㎡)

区 分	面 積 (単位㎡)	内 訳			
		階別	面積(単位㎡)	備 考	
霧 島 本 庁 舎	管 理 研 究 棟 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 下 1 階 地 上 3 階	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他	
		1階	2,884.14	庶務部, 企画支援部, 会議室 研究員室, ショールーム 知的所有権センター 他	
		2階	3,097.77	企画支援部, 食品・化学部, 生産 技術部, シラス研究開発室, 電子 計算機室	
		3階	2,540.82	企画支援部, 食品・化学部, 地域 資源部, 生産技術部, R&D支援 センター	
		棟屋	356.07	機械室	
実 験 棟	食 品 ・ 化 学 実 験 棟 窯 業 実 験 棟 機 械 金 属 実 験 棟 木 材 工 業 実 験 棟	1階	656.10	食品・化学部	
		1階	951.35	生産技術部, シラス研究開発室	
		1階	1,640.25	生産技術部	
		1階	1,541.84	企画支援部, 地域資源部	
		システム技術開発センター 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1階	1,058.51
そ の 他 付 属 棟	1,026.65		1,026.65	浄化槽機械室, 車庫, 官舎 他	
奄 美 分 庁 舎	事 務 所 及 び 研 究 室 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 上 2 階	1階	1,499.26	職員室, 会議室, 展示ロビー 資料室, 機織試験室, 染色試験室 染色加工室 他	
		2階	630.40	デザイン研究室, 開放試験室 機器分析室, 化学分析室, 暗室 機器計測室, 機器計測準備室 他	
	ハ イ テ ク 開 放 試 験 室 鉄 骨 造	164.32	1階	164.32	つむぎゆらおう塾
	そ の 他 付 属 棟	140.76		140.76	廃水処理施設, 実験用泥田

1-5-2 配置図



■霧島本庁舎



■奄美分庁舎

1-6 決算

1-6-1 歳入

執行状況

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使用料	商工使用料	3,747,415	
	手数料	商工手数料	5,161,300	
	小計		8,908,715	
財産収入	財産売払収入	物品売払収入	2,362,500	
		生産物売払収入	1,080,040	
		小計	3,442,540	
諸収入	雑入	受託事業収入	12,186,141	
		その他収入	158,142	
		小計	12,344,283	
合		計	24,695,538	

1-6-2 歳出

執行状況

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考
総務費	総務管理費	人事管理費	365,847	人事課
衛生費	環境衛生費	環境保全対策費	97,560	地球温暖化対策課
労働費	労政費	就職促進費	11,669,584	産業立地課
農林水産業費	農業費	農業振興費	6,200	農産園芸課
		林業費		
	林業総務費	97,550	林業振興課	
	林業振興指導費	48,700	林業振興課	
	小計	146,250		
	水産業費	水産技術開発センター費	270,000	水産振興課
商工費	商業費	商業総務費	212,732	商工政策課
		工業振興費	25,412	産業立地課
	工鉦業費	中小企業振興費	203,704	かごしまPR課
		中小企業振興費	225,863	産業立地課
		工業技術センター費	153,193,056	産業立地課
		工業技術センター費	38,843,010	〃（明許繰越費）
	小計	192,491,045		
合	計	205,259,218	(人件費を含まず)	

1-6-3 補助事業等

(単位：千円)

区分	補助事業等の名称	事業名	事業費	補助率	補助額	交付決定日	備考
受託	研究成果最適展開支援プログラム (フィージビリティスタディステージ探索タイプ)委託研究 (独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業 「さつまいも茎葉のポリフェノールを原料とした新規マテリアルの開発」	1,700	1/1	1,700	23. 7. 14	
〃	研究成果最適展開支援プログラム (フィージビリティスタディステージ探索タイプ)委託研究 (独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業 「3次元塑性流動可視化技術を用いた押し出しフローガイド設計法の確立」	1,700	1/1	1,700	23. 7. 14	
〃	第2回研究成果最適展開支援プログラム (フィージビリティスタディステージ探索タイプ)委託研究 (独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業 「シラス細骨材の加圧脱水ブリケット化による低コスト製造技術の開発」	1,700	1/1	1,700	23. 11. 16	
〃	第2回研究成果最適展開支援プログラム (フィージビリティスタディステージ探索タイプ)委託研究 (独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業 「耐圧強度を向上させたシラスバルーンの開発」	1,700	1/1	1,700	23. 11. 16	
〃	公害防止等試験研究費 「ディーゼル車の環境性能に与えるバイオマス燃料の影響実態把握とその評価に関する研究」 (独)交通安全環境研究所)	公募提案型受託研究事業 (廃食用油BDFの性状評価等)	1,395	1/1	1,395	23. 10. 31	
〃	新規事業参入調査支援事業 (財)かごしま産業支援センター)	公募提案型受託研究事業 「ヤンバルトサカヤスデ侵入防止器試作装置の評価」	450	1/3	150	23. 6. 10	
〃	調査研究 (財)サンケイ科学振興財団)	公募提案型受託研究事業 「肌ヌカを用いた新規米加工食品の開発」	200	1/1	200	23. 2. 25	
〃	調査研究 (日本酒造組合中央会)	公募提案型受託研究事業 「黄麹を用いた芋焼酎製造技術の確立」	1,500	1/1	1,500	23. 4. 1	
	合 計		10,345		10,045		

1-6-4 検査・監査等

種 別	実施年月日	対 象 期 間	実 施 者 職・氏名	備 考
委員監査	平成23年11月24日	平成22年度及び 平成23年4～8月分	監査委員 弓指博昭 監査委員事務局 次 長 佐藤文彦	
職員監査	平成23年10月17日	平成22年度及び 平成23年4～8月分	監査委員事務局 椀山広海, 黒丸祥一 富森貴代	

1-7 会議等への参加

(件数)

部 名 項 目	庶 [※] 務 部	企 画 支 援 部	食 品 ・ 化 学 部	生 産 技 術 部	地 域 資 源 部	シ ラ ス 研 究 開 発 室	大 島 紬 部	合 計
試験研究機関連絡会議	4	7	8	6	5	3	2	35
学 会	0	1	5	12	2	2	0	22
研 究 会 ・ 講 習 会	16	16	33	46	22	6	1	140
そ の 他	79	15	33	6	10	5	41	189

※庶務部は所長, 副所長を含む

1-8 設 備

平成23年度に整備した機器(重要物品)は, 以下のとおりである。(1機種)

部 名	機 器 名	型 式	メ ー カ ー 名	備 考
生産技術部	デジタルオシロスコープ	WaveRunner 610Zi	レクロイ・ジャパン(株)	受 託

(注)

受 託 - 文部科学省の補助金((独)科学技術振興機構からの委託)により購入したもの